

Rotary
第2820地区



2024-2025年度 国際ロータリー第2820地区

会長エレクト研修セミナー



国際ロータリー2024-2025年度

会長 ステファニー A. アーチック

日時：2024年3月23日(土)・24日(日)

場所：ホテル テラス ザ スクエア 日立

ホスト：高萩ロータリークラブ

ガバナー 大久保博之

ガバナーエレクト 大高 司郎

地区ラーニングファシリテーター 大野 治夫

Rotary International District 2820





R. I. 会長メッセージ

2024-25 年度

国際ロータリー会長

ステファニー A. アーチック

(McMurray RC・米国)

ロータリーファミリーの皆さま、こんにちは。魅力あふれるチーム (the Irresistibles) である 2024-25 年度地区ガバナーの皆さまに向けてお話しでき光栄です。私が皆さまを「マイファミリー」(私の家族) と呼ぶとき、単に親切心からそうしているわけではありません。本当に、皆さまを家族同様に思っています。

今日は、ロータリーファミリーのとても大切なメンバーたちに特別なスポットライトを当てることから始めたいと思います。数週間後に私は、素晴らしいヘルスワーカーの女性たちとお会いするためにパキスタンを訪れます。

ポリオをあらゆる場所から根絶することは、パキスタン全土でこの難しい仕事を一つずつこなすことを意味します。それは、困難で、時には危険な仕事です。女性たちは、文字通り、山を登って人里離れた場所で子どもたちに予防接種をしますが、それは困難さの半分にも及びません。彼女たちは、誤情報や先入観と絶えず闘わなければなりません。

パキスタンで、そして世界でポリオが根絶されたら、その大部分はこれらの女性たちのおかげです。

皆さまの多くはこれらのワーカーと決して会うことはないでしょう。でも、皆さまが彼女たちをサポートし、その貢献を大切にしていることを、パキスタンに行ったら彼女たちに知ってもらいたいと思います。現地で彼女たちとシェアできるよう、ぜひ総立ちの拍手を送ってください…。カメラの準備をしますので、ちょっとお待ちください。

大きな拍手に加えて、これらのヘルスワーカーとポリオ根絶活動を支援する最善の方法は、認識向上と資金調達です。クラブまたは地区のポリオプラス・ソサエティへの参加や設立は、今からでも遅くありません。私たちの寄付に対しては、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が引き続き2倍額を上乗せしますが、年次募金目標である5,000万ドルを私たちが達成することが条件となります。

認識向上を促すには、地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります。

ありがたいことに、活動をやすくし、クラブでの体験を魅力的なものとするために、ロータリーの行動計画があります。そこからロータリーのマジック(魔法)が始まります。分断された世界を癒すには、そのマジックが必要です。世界の武力紛争と避難民の数は、驚くほどのスピードで増加しています。ポジティブなインパクトをもたらしたければ、私たちがベストを尽くす必要があります。

これは、組織としての私たち自身について、いくつかの変更を加える必要があるかもしれないことを意味します。変化に対して不安を感じるかもしれませんが、私たちが共に変化すればそれも和らぎます。

そのことを念頭に、クラブがよりよくなるために変化し、ロータリーの強さを維持できるよう、皆さま全員に行動計画の推進者となっていただくようお願いいたします。行動計画には継続の余地が十分にあります。この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくも

のです。

行動計画は、地区内のクラブでの体験をよりよくするのに役立つ手段であると考えてください。皆さまには影響力があることを忘れないでください。クラブを設立するのは地区ガバナーです。皆さまは、クラブのリーダーが創造的に考え、既存会員と将来の会員のために魅力的な体験を生み出せるよう後押しできます。これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去 50 年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。行動計画は、クラブの強みと弱み、改善点を特定する上で役立つものです。

地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれませんが。クラブ会員が何を望んでいるのかを尋ね、地域社会のニーズとの橋渡しをしましょう。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません。地区ガバナーである皆さまには、向上する力をクラブ会員に与える素晴らしい機会があります。

地区内のクラブ会員と連絡を取り、クラブでの体験はどうか、クラブをよりよくするために何ができるかを尋ねてみてください。また、まだ入会していないけれどロータリー会員になるべき地元のリーダーと話すことを検討してください。その人たちはロータリーのことを知らないのかもしれませんが。あるいは、地元クラブの現在の構造がその人たちに適していない可能性もあります。

心からクラブへの帰属意識を持たずにいる会員がいることにも気づくかもしれません。だからこそ、多様性、公平さ、インクルージョン、そして帰属意識へのコミットメントを広げることが重要です。

奉仕の心と実行力のある人は誰でも、ロータリーに属しています。行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても、DEI を受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注ぐことで、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます。

しかし、活動はそこで終わるわけではありません。私たちがクラブについて人びとに伝えなければ、クラブが魅力的であると誰も知ることはありません。事実、この困難の時代に前向きなイメージを広げ、積極的平和を広げるには、ストーリーテラー(語り部)が必要とされます。

平和構築は私の最優先事項の一つであり、この国際協議会は地区ガバナーとなるための準備以上のものです。ロータリーの平和構築プログラムとイニシアチブを支援するための行動喚起のときなのです。

そのようなプログラムの一つに、ロータリー平和フェロウシップがあります。これは、平和と開発の専門家が紛争の終結と防止に取り組むのを支援するために、20 年以上前に始まったロータリー財団のプログラムです。

私たちは、世界各地の名門大学にあるロータリー平和センターで学ぶためのフェロウシップを提供します。これまでに 1,800 人以上の平和フェロウがロータリー平和センターを卒業し、よりよい世界を築くために現在 140 カ国以上で活躍しています。

また、オットー&フラン・ウォルター財団(Otto and Fran Walter Foundation)からの 1,550 万ドルのご寄付のおかげで、トルコのイスタンブールにあるパーチェシエヒル大学に設置される平和センターで、もっと多くの地域の平和構築者を引き続き支援できます。

第一期生たちは 2025 年初旬にイスタンブールに到着します。これを記念し、ロータリー会員、ロータリー平和フェロウ、積極的平和アクティベーターなどの人たちが、2025 年 2 月に予定されているロータリー会長平和会議に集います。

この会議のテーマは、「分断された世界を癒す」です（もうすぐ発表する年次テーマではありません）。この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります。

平和会議についての詳細は、シンガポールで開催される国際大会で伝えられます。現地では皆さまにお会いするのが待ちきれません。

それまでの間、皆さまと地区の会員は、平和の推進のために多くのことを行うことができます。地域社会で平和への希望を広めたいという会員は、地元の公園や遊び場、人びとが集う場所にピースポールを設置できます。私が最も好きな平和構築の手段の一つに、「四つのテスト」があります。すべてのロータリー会員が、単に四つのテストを暗唱するのではなく、それを真に実践していれば、世界はよりよくなるでしょう。

ロータリー会員が平和構築活動を支援する方法はたくさんありますが、今日、覚えておいていただきたいことが一つあります。それは、平和を世界に広げるには、まず自分自身の中に平和を見出さなければならないということです。

思いやりある行動を取ることで、不安や落ち込んだ心を和らげ、既知のどのアプローチよりも社会的なつながりを効果的に促すことができます。私たちは、他者を助けることに喜びを見出しますが、バランスを取るという難題にも直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません。

私のテーマの色としてオレンジとスカイブルーを選んだのは、このためです。オレンジは、秋の主な色として、季節の移り変わり、つまり、一つの段階の終わりりと別の段階の始まりを表しています。実際、オレンジ色は変化を表す主な色です。

一方、青は、知識と知性、つまり信頼性と忠誠を連想させます。青は、オープンなコミュニケーションへの意欲を与えます。これらの色の組み合わせは、自分自身を変え、世界を変えながら共に前進したいという熱い思いを表しています。

ということで、前置きが長すぎました。2024-25年度のテーマを聞く準備はできていますか？

では、テーマをお教えしますが、その前にある逸話を簡単にご紹介します。

数年前、私はドミニカ共和国で浄水器の設置を手伝っていました。浄水器の片方から汚い水が入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。その水の流れを最初に止めた時のことを、私は決して忘れません。少年の一人が私の袖をつかんで、「もう一度魔法を見せて」と言ったのです。

もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、受益者の方々と協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです。

このため、私たちの年度のテーマは、「ロータリーのマジック」です。

誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけで会員を増やしたり、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。

それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです。

皆さまの地域のクラブを突き動かすものが何であれ、「ロータリーのマジック」がそれを促進します。ロータリーファミリーに新会員を加えることで、「ロータリーのマジック」を広げることができます。女性と子供の力を解き放つことで、「ロータリーのマジック」を解き放つことができます。世界に変化をもたらすための資金を募ることで、「ロータリーのマジック」を前進させることができます。

ロータリー会長、そして地区ガバナーとしての私たちの1年が終わるとき、このマジックが続いていくようにする準備ができている人が大勢いるかどうかは、私たち次第です。

私はロータリーファミリーを愛しています。この会場でその愛を感じることができます。だからこそ、皆さまには地区のすべてのクラブを魅力的にする力があると知っています。

この国際協議会は永遠に続くわけではありませんから、どんなに小さな瞬間も最大限に活用してください。束の間のつながりが生涯の友情につながるかもしれません。学んだシンプルなことが、皆さまのロータリー人生を変えるかもしれません。そのような機会を見逃さないでください。

家に帰ったら、「ロータリーのマジック」を使って世界を変えていきましょう。



2024-25年度国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック



会長エレクト研修セミナーによせて

2023-24 年度

国際ロータリー第 2820 地区

ガバナー **大久保 博之** (水戸 RC)

いよいよ、2820地区24-25年度大高司郎ガバナーの船出を迎えようとしています。

PETSは地区内会長エレクトが一堂に会しRI会長方針を受けた、大高ガバナーの方針を具現化するとともに、地区の運動を明確にし、共有する唯一の機会です。

ロータリークラブは各地域の各界のリーダーの集まりであり、また同時に、メンバーの親睦を図り、世界や、地域の課題を解決する団体です。

課題とは一体何でしょう。国際ロータリーでは、

- ①国際平和
- ②疾病予防
- ③水の衛生と確保
- ④母子の健康
- ⑤識字率と教育
- ⑥地域経済の発展
- ⑦環境

というカテゴリーを提唱しています。その中でそれぞれのクラブや地域性により課題は異なると思います。

特に地域の課題はそれぞれ各クラブが一番理解しているものです。ぜひその解決にその一歩を踏み出しましょう。

「楽しいロータリーライフ」は何も懇親会をやることだけではなく「奉仕活動の充実」の中にもあります。「親睦や友情」は会員がともに汗を流す活動の中でも育まれるものです。

結びに・・・各クラブのリーダーである会長の皆さまには一番大事な責任があります。それは「クラブ会員一人一人の楽しく充実したロータリーライフを保証する」ことです。親睦、奉仕、研鑽のバランスの取れたクラブライフを提供することです。

大高ガバナーの方針(つまりRI指針)をよく理解されて、クラブの方針に落とし込み地区が一丸となって地域や世界の課題に貢献されんことを祈ります。



会長エレクト研修セミナーに寄せて

2024-25 年度

国際ロータリー第 2820 地区

地区ラーニングファシリテーター

大野 治夫 (つくば学園 RC)

梅も終わり、桜の花が咲いている頃と推察いたします。

本日は先日(3月3日)の地区チーム研修セミナー(DTTS)に続いての会長エレクト研修セミナー(PETS)の開催となります。今日ご参加の皆さんは、ステファニー A. アーチック国際ロータリー会長のテーマ THE MAGIC OF ROTARY(ロータリーのマジック)の基、1. 平和構築(平和と開発専門家が紛争の終結と防止に取り組むことを支援する)2. 行動計画を前進させる(今まで地区が同じ方法で物事を行ってきたことを見直す)3. ポリオ根絶実現(ポリオ根絶には、認識向上と資金調達)の3つの方針を踏まえて、大高年度は BE THE INSPIRATION “元気な一歩、共に成長するクラブの力”と目標、テーマにしました。クラブが活気に満ち共感を呼び起こしクラブメンバーが協力して成長していきましょうとしております。そして大高年度の地区数値目標は4、地区行動目標は14あります。それぞれ大事な目標だと思えます。その中でも平和はもちろんですが、公共イメージを向上させ、居心地が良く積極性を引き出し、会員増強に努め活性化をし、そしてクラブ優秀賞(ロータリー賞)達成にチャレンジしていただければと思います。

地区研修委員会も地区ラーニング委員会、地区研修リーダーも地区ラーニングファシリテーターとなりました。今までの Training(講義、講演)から Learning(参加、自己学習型)に変わりました。今までの講義型では、数%しか頭に残らなかったが、討論や人に教えるとなると、50から90%が頭に残ると言う統計があります。人に教えてもらった事は他人事ですが、自分自身で気づいた事は身に付くと言うことです。今日、このような重要なポストにあるメンバーの方々が研修セミナーにおいて、各委員会、総括委員長の皆様も開催の趣旨を説明し、RLI方式を取り入れて、5、6人のグループに分かれ講義ではなく、討論形式でおこない、必ず一人ひとりのメンバーに意見を述べていただき、最後にグループ発表してもらおう研修セミナーとしていただければ大変前進したセミナーになるのではないかと思います。よろしくお願いいたします。

最後に各クラブの全ロータリアンの皆さんがより良い奉仕活動をしていただき、クラブが強くなり、皆さんのご活躍とご健勝を祈願して挨拶とさせていただきます。

追伸 ロータリーでは無いのですが、近年教育の現場でも注目を集めているアクティブラーニング(Active Learning)です。学ぶ側からも積極的に働きかけながら学ぶと言うことです。例えば先生が黒板に向かい講義を行い、それを生徒たちが聞くのが一般的でしたが、文部科学省では「学生にある物事を行わせ行っている物事について考えさせること」としてしております。それにより学びに対して興味や関心を持ってもらい、対話しながら考えを広げていくとのことです。教育の分野でも学習方針も変化しつつあります。

『ロータリーも変わらしましょう』



会長エレクト研修セミナーに寄せて

2023-24 年度

国際ロータリー第 2820 地区

ガバナーエレクト **大 高 司 郎** (高萩 RC)

本日はご多忙のところ、県北日立市にご足労賜り誠にありがとうございます。私は来るべき 2024-25 年度に、クラブを指導し、クラブ活動を先導するリーダーに就任される会長エレクトの皆さまと、時を共有してガバナーを務めることができますことを、何よりの光栄と存じます。

最初に、1 月に米国オーランドで国際協議会に参加して感じたことをお伝えします。1 点目は世界 530 地区余りのガバナーエレクト (GE) は女性が多数就任していること。2 点目は日本を含め世界の GE は総じて若いということ。3 点目はロータリーの国際性です。

協議会でステファニー A. アーチック RI 会長エレクトは 8 日、午前の本会議で 2024-25 年度 RI テーマは「ロータリーのマジック」と高らかに発表しました。これに呼応して会場はヒートアップし大きな拍手でテーマを歓迎しました。初めての体験、まさに国際協議会最高のハイライトがここに集約された感じでした。テーマ誕生のいきさつについて彼女はこう述べています。McMurray ロータリークラブの一員としてドミニカ共和国での浄水器設置活動に参加し、その経験からロータリーのマジックを目の当たりにした少年たちが浄水器の設置に驚き、安全な水の変化を「魔法 (マジック)」として捉えていたエピソードを説明。ロータリーが人々の生活を変える力を認識したとし、ロータリーの人道的な活動を拡大するよう呼びかけました。

さて今日の PETS は、国際ロータリー次年度テーマと RI 方針を次年度クラブ会長へお伝えする場です。そして RI テーマ・RI 方針に沿った、当地区のスローガンと地区方針に理解を深めて頂き、各クラブの職業・地域社会・国際・青少年等の奉仕計画が、地区方針と整合し、地区活動となるプログラムとして連携を図るためのセミナーです。クラブ会長エレクトの皆様に会長の役割を理解していただき、クラブ運営を円滑に進めて頂くための研修セミナーです。

2024-25 年度国際ロータリー

ステファニー A. アーチック会長テーマ

(マクマリーロータリークラブ 米国ペンシルバニア州)

ロータリーのマジック

THE MAGIC OF ROTARY

2024-25 年度の国際ロータリーとロータリー財団の年次目標

ロータリーのビジョン声明

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

ロータリーの新しいビジョン実現に向け、新たな行動計画の土台となる 4 つの優先事項が定められました。

優先事項 1 「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調し、ポリオのない世界のための計画を立てる。
2. ロータリー財団への寄付全般を増やし、2025 年までに 20 億 2,500 万ドルの恒久基金を築く。
3. クラブ、地区、国際レベルで、地域社会の調査およびプロジェクトとプログラムの測定を奨励する。

優先事項 2 「参加者の基盤を広げる」の目標

1. クラブとロータリーファミリーの多様性、公平さ、インクルージョンを育むための活動を推進する。
2. 既存の関係を強化し、ロータリーの行動計画に沿った新たなパートナーシップを築く。
3. 革新的なクラブと新しい参加経路を確立し、発展させる。
4. 地元と海外の地域社会におけるロータリーと会員のインパクトに対する認識と理解を高める。

優先事項 3 「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

1. 会員のニーズに応え、会員維持率を高めるためにクラブを支える会員参加のためのツールを充実させる。
2. 参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力とつながりを強化する。
3. 職業上のつながりを育み、リーダーシップスキルを養うためにロータリーを通じて提供される機会を紹介する。

優先項目 4 「適応力を高める」の目標

1. より大きな協力と運営効率を促進するための革新的なアプローチを試行することにより、地域の適応力を支える。
2. ロータリーのリーダーシップとガバナンスにおいて、多様性、公平さ、インクルージョンを支援する。

国際ロータリー第 2820 地区 2024-25 年度

【スローガン】

BE THE INSPIRATION

“ 元気な一歩、共に成長するクラブの力 ”

【地区数値目標】

- ① 会員数（ロータリアン・ローターアクター） ～ 会員基盤の向上 ～
地区 2,000名
 - ・ロータリークラブ 純増 2名
 - ・ローターアクトクラブ 純増 1名

- ② ロータリー財団寄付 ～ 世界でよいことをしよう ～
 1. 年次基金寄付 150ドル/人
 2. ポリオ・プラス基金 30ドル/人
 3. 恒久基金(ベネファクター) クラブ一人以上
 4. ポリオ・プラス・ソサエティ(PPS)会員 クラブ一人以上
 5. ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)会員 地区100人以上維持

- ③ 米山記念奨学会 ～ 米山奨学生・学友の育成、支援のために ～
会員一人当たり25,000円（普通寄付5,000円、特別寄付20,000円）

- ④ My ROTARY 会員登録 75% ～ 活動に欠かせない情報源 ～

【地区行動目標】

- ① DEI(Diversity 多様性 Equity 公平性 Inclusion インクルージョン)の促進
 - (1)多様性:全てに門戸を開放する
 - (2)公平性:誰もが公平で大切にされる
 - (3)インクルージョン:多様性を受け入れ、互いに認め合い、皆が活躍できる
このような環境であるかを常に認識し、DEI を推進してください。

- ② 平和の推進者になる
ロータリー平和センターの支援。平和構築手段の一つ「四つのテスト」を実践する。

- ③ クラブ優秀賞(ロータリー賞)へのチャレンジ
クラブ優秀賞は、その年のクラブの優れた業績や功績を表彰します。目標には会員増強・維持、持続可能なプロジェクトの立案、財団の寄付、地域社会での奉仕活動や公共イメージ向上等が含まれています。分区の推進者はガバナー補佐、地区は目標達成を支援します。
目標:全ロータリークラブ、ローターアクトクラブの受賞。

- ④ 会員維持率の向上と増強
クラブに DEI を取り入れ強化し会員維持力を高めましょう。会員増強は最大の課題、「仲間を増やし共に成長しよう」。待っていても、入会希望者は現れません。全会員が協力し、クラブを活性化しましょう。7月から10月までの4か月間を会員増強強化期間とし、11月の地区大会で表彰いたします。

⑤ ポリオ根絶のためのプロジェクト

ポリオ根絶はロータリーの最優先事項です。ポリオ根絶 99.9%、残り 0.1%の実現まであと一歩。当年度はエンドポリオに重点を置き、ここに精力を集中させたいと考えます。2024 年世界ポリオデーに共に行動しましょう。青少年奉仕委員会を中心にエンドポリオをテーマとする「奉仕プロジェクト」を企画します。全クラブの参加をお願いします。

⑥ 公共イメージの向上

公共イメージ委員会とIT委員会を統合、「公共イメージ・ICT(情報通信技術: Information and Communication Technology)推進委員会」とします。積極的に活動しロータリーの認知度向上に努めましょう。ロータリー活動に貢献できるようなデジタル化を推進します。正しいロータリーロゴの使用。

⑦ 青少年育成事業の推進

未来を担うリーダーの育成につとめましょう。インターアクト、青少年奉仕、RYLA、青少年交換への支援および協力を強化しましょう。

⑧ ローターアクトクラブの活性化

今年度から青少年奉仕委員会から独立、ガバナー直轄委員会とします。クラブの活性化を図ります。将来のヤングロータリアンとしてのローターアクトとの交流を深めましょう。クラブ財団寄付目標を 100 ドル(寄付分類は問わない)とします。RAC 合同ガバナー公式訪問を実施します。

⑨ 地区研修委員会が地区ラーニング委員会に

研修モデルからラーニングモデルの変更について。地区研修リーダーは地区ラーニングファシリテーターに、クラブ研修リーダーはクラブ・ラーニングファシリテーターとなります。会員自らが積極的にラーニング(学び)を関与しましょう。クラブにラーニングファシリテーターの任命を奨励します。

⑩ My ROTARY(マイロータリー)の登録推進

各種手続きや記録の確認がオンライン上で行えるのみならず、様々なロータリー情報に触れ、研修の機会も得ることができ、活動に欠かせない情報源です。ラーニングセンターには基本的な情報を学べる豊富なコースや学習プランが含まれています。

My ROTARY を活用しましょう。

⑪ RLI への積極的参加

RLI (Rotary Leadership Institute) は、ロータリーにおける最大の草の根の指導力育成プログラムです。一人でも多くのメンバーがロータリー活動に理解を深め、活力あるクラブ創生に力を出せるよう参加推進をお願いします。特に会長は率先して参加してください。

⑫ メークアップの奨励

クラブ間交流を深め、情報交換をし、他クラブの雰囲気を経験し、他クラブにおける見習う点を自クラブに取り入れましょう。他クラブの活動を垣間見ること必要、名刺交換から交流が始まります。まずは近隣クラブのメークアップから始め、クラブでの体験を魅力的なものにしましょう。

⑬ ロータリー希望の風奨学金への支援を継続

東日本大震災により災害遺児となった青少年への教育支援の輪を広げましょう。大久保年度を引継ぎ、公式訪問に例会で一人 1000 円の寄付を任意でお願いいたします。

⑭ 国際大会(カルガリー)へ参加しましょう

ロータリー最大のイベントで、世界中から集うロータリアンと友情と親睦を深め一生の思い出をつくりましょう。カルガリー(カナダ)国際大会は 2025 年 6 月 21 日(土)～ 25 日に開かれます。皆さまの参加をお待ちしています。



実行委員長のご挨拶

国際ロータリー第 2820 地区
会長エレクト研修セミナー実行委員長
小 森 勇 一 (高萩 RC)

茨城県下全域で活躍する第2820地区会長エレクトの皆様、早朝よりご参集いただきご苦労さまです。そして、強力な助言とご指導を賜りますバスタガバナー、地区役員の皆様ありがとうございます。その上研修の基盤となります講演を第2620地区バスタガバナー、甲府ロータリークラブの高野孫左エ門様が快諾してくださいました。心より感謝申し上げます。

大高司郎ガバナーエレクトが国際協議会で研修したことを皆様としっかり共有し学びを深め、リーダーシップを確立するには、どういうラーニング、学習の場を構成するのがよいのか大きな課題でした。大高エレクトの「クラブを元気にしたい」「ともに成長するクラブの力を高めたい」という熱意を、2日間の学習で、皆様の主体的な実践力、行動力に高めていただきますよう祈っております。

実行委員会は、第1分区分6クラブの全面的なご支援ご協力をいただき本日を迎えました。感謝とともに、皆様におかれましては大きな成果を得て、新年度リーダーシップを発揮されますよう祈念いたします。



歓迎のご挨拶

国際ロータリー第 2820 地区
ホストクラブ会長
小谷松 政 紀 (高萩 RC)

いよいよ7月1日大高ガバナー年度を迎えるにあたり、地区内全55クラブの会長エレクトの皆様をお迎えし、会長エレクト研修セミナーを開催できますこと、心から感謝し歓迎申し上げます。

そして、大久保博之ガバナー、地区ラーニングファシリテーター大野治夫様をはじめとするバスタガバナーの皆様のご出席を賜り、本セミナーが開催されますことに深く御礼申し上げます。

高萩ロータリークラブは創立55年目にして、始めてガバナーを輩出いたしました。大変名誉なことと存じますとともに、小さなクラブでございますので、皆様のご期待に応えて、大高司郎ガバナーを支え、ホストクラブとしての責務を全うできるのか大変不安でした。しかし、第1分区分の全クラブから激励とご支援を賜り、副幹事の皆様に派遣していただき、実行委員会を立ち上げ、準備を進めてまいりました。

不行き届きの点は多々あるかと存じますが、ロータリーの友情に免じてお許しいただきますようお願いいたします。2日間の研修が皆様にとって実り多いラーニングでありますようお祈りいたします。

講師のご紹介



国際ロータリー第 2620 地区パストガバナー (2012-2013)

たか の まご さ え もん

高野 孫左エ門 (甲府 RC)

【職業分類】 石油製品販売業

【職業】 株式会社吉字屋本店・山梨トヨペット株式会社 代表取締役社長

【ロータリー歴】

1988 年 7 月 甲府ロータリークラブ入会
2002-2003 年度 第2620地区ロータリー財団委員会 委員長
2006-2007 年度 甲府ロータリークラブ会長
2012-2013 年度 第2620地区ガバナー
2017-2020 年度 第2620地区審議会代表議員
2013-2016 年度 (公財)ロータリー米山記念奨学会選考委員会 委員
2016-2019 年度 (公財)ロータリー米山記念奨学会広報委員会 委員・委員長
2017 年～ (公財)米山梅吉記念館 理事
2014-2017 年度 国際ロータリー 公共イメージコーディネーター
2018・2019 年度 国際ロータリー ラーニングファシリテーター(研修リーダー)
2022 年～ ロータリーの友委員会委員長 (一社)ロータリーの友事務所代表理事
2022 年～ 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 理事

【認 証】 ロータリー財団メジャードナー (3)
ロータリー財団ベネファクター
米山記念奨学会メジャードナー

2024-2025 年度 国際ロータリー第 2820 地区
「会長エレクト研修セミナー」プログラム (PETS)

2024年3月23日 (土)

会場：ホテル テラス ザ スクエア 日立

10:00~10:30	登 録		
10:30~11:00	開 会 点 鐘 開会のことば 国歌及びロータリーソング「奉仕の理想」 歓迎のことば 地区役員紹介 ガバナー挨拶	司 会 ガバナーエレクト 実行委員長 ホストクラブ会長 ガバナーエレクト ガバナー	和田 昌也 (高萩) 大高 司郎 (高萩) 小森 勇一 (高萩) 小谷松政紀 (高萩) 大高 司郎 (高萩) 大久保博之 (水戸)
11:00~11:30	RI会長テーマと地区運営方針	ガバナーエレクト	大高 司郎 (高萩)
11:30~11:50	クラブ会長の責務と役割	地区ラーニングファシリテーター	大野 治夫 (つくば学園)
11:50~12:00	諸事お知らせ	司 会	和田 昌也 (高萩)

12:00~13:00 昼 食

13:00~13:20	クラブ優秀賞(ロータリー賞)について	地区幹事	大河原 浩 (高萩)
13:20~13:40	クラブ定款及び細則/クラブ戦略計画について	規定審議会地区代表議員	高橋 賢吾 (水戸西)
13:40~14:00	セッション1 クラブ奉仕について	クラブ奉仕担当カウンセラー	大久保博之 (水戸)
14:00~15:00	セッション2 職業奉仕について 社会奉仕について 国際奉仕について	クラブ奉仕総括委員長 奉仕プロジェクト担当カウンセラー 職業奉仕総括委員長 社会奉仕総括委員長 国際奉仕総括委員長	星野 幸子 (水戸西) 高橋 賢吾 (水戸西) 安 圭一 (水戸) 關本 淳一 (土浦) 平島 隆之 (土浦)

15:00~15:10 休 憩

15:10~15:30	セッション3 青少年奉仕について	青少年奉仕担当カウンセラー	保延 輝文 (石岡)
15:30~15:50	セッション4 ローターアクトについて	青少年奉仕総括委員長 ローターアクト担当カウンセラー	高田 稔美 (つくば学園) 中村 澄夫 (東海那珂)
15:50~16:10	セッション5 ロータリー財団について	ローターアクト総括委員長	塚越 俊祐 (つくば学園)
16:10~16:30	セッション6 米山記念奨学会について	資金管理・推進委員長 補助金委員長	秋葉 良孝 (水戸) 菊池 泰正 (土浦)
16:30~16:40	質疑応答	米山記念奨学会担当カウンセラー	大野 治夫 (つくば学園)
16:40	閉会のことば 点 鐘 諸事お知らせ・会場移動	米山記念奨学会総括委員長 地区ラーニングファシリテーター 地区幹事 ガバナーエレクト 司 会	神山 芳子 (下館) 大野 治夫 (つくば学園) 大河原 浩 (高萩) 大高 司郎 (高萩) 和田 昌也 (高萩)

17:20~19:00	懇 親 会 挨 拶 乾 杯 お開き「手に手つないで」	司 会 ガバナーエレクト ガバナー	今川 隆 (高萩) 大高 司郎 (高萩) 大久保博之 (水戸)
-------------	-------------------------------------	-------------------------	---------------------------------------

2024-2025 年度 国際ロータリー第 2820 地区
「会長エレクト研修セミナー」プログラム (PETS)

2024年3月24日 (日)

会場：ホテル テラス ザ スクエア 日立

9:00~9:10	開会本会議 開会のことば 点 鐘	司 会 地区会計長 ガバナーエレクト	和田 昌也 (高萩) 石 君平 (高萩) 大高 司郎 (高萩)
9:10~9:20	ガバナー挨拶	ガバナー	大久保博之 (水戸)
9:20	講師ご紹介	ガバナーエレクト	大高 司郎 (高萩)
9:20~10:20	講演「元気なクラブを目指して」	第2620地区バスターガバナー	高野孫左門 (甲府)
10:20~10:30	質疑応答	地区幹事	大河原 浩 (高萩)

10:30~10:40 休 憩

10:40~11:40 (60分)	分科会(分区分別グループディスカッション)	第1分区分区ガバナー補佐 第2分区分区ガバナー補佐 第3分区分区ガバナー補佐 第4分区分区ガバナー補佐 第5分区分区ガバナー補佐 第6分区分区ガバナー補佐 第7分区分区ガバナー補佐 第8分区分区ガバナー補佐	佐々木幸一 (日立) 大谷 昌吉 (常陸太田) 高原 裕 (水戸) 小林 隆一 (古河中央) 笠倉 勉 (しもだて紫水) 清野 宏之 (土浦南) 久保田春康 (取手) 金子 大作 (波崎)
11:40~11:50	ガバナーエレクト挨拶	ガバナーエレクト	大高 司郎 (高萩)
11:50~12:00	閉会のことば 点 鐘	実行委員長 ガバナーエレクト	小森 勇一 (高萩) 大高 司郎 (高萩)

出席者名簿

敬称略

	役 職	氏 名	所属クラブ
地区諮問委員	ガバナー(2023-2024年度)・クラブ奉仕担当カウンセラー	大久保 博 之	水 戸
	地区ラーニングFT・米山記念奨学会担当カウンセラー	大 野 治 夫	つくば学園
	バストガバナー	塙 東 男	笠 間
	バストガバナー	吉 岡 昭 文	つくば学園
	バストガバナー	北 村 仁	水 海 道
	バストガバナー	片 岡 信 彦	土 浦 南
	バストガバナー	永 井 靖 彦	水 戸 東
	バストガバナー	萩 原 亢 雄	しもだて紫水
	バストガバナー	佐 藤 衛	水 戸 南
	バストガバナー	井 上 壽 博	水 戸
	バストガバナー	廣 瀬 昭 雄	土 浦
	バストガバナー	山 崎 清 司	古 河 東
	バストガバナー	野 堀 喜 作	つくば学園
	バストガバナー	長谷川 國 雄	水 戸 南
	バストガバナー	藤 居 彰 一	日 立
	バストガバナー	白 戸 仲 久	古 河 中 央
	バストガバナー	保 延 輝 文	石 岡
	バストガバナー	高 橋 賢 吾	水 戸 西
	バストガバナー	中 村 澄 夫	東 海 那 珂
	バストガバナー	池 田 正 純	牛 久
バストガバナー	新 井 和 雄	下 館	
ガバナー補佐	第1分区ガバナー補佐	佐々木 幸 一	日 立
	第2分区ガバナー補佐	大 谷 昌 吉	常 陸 太 田
	第3分区ガバナー補佐	高 原 裕	水 戸
	第4分区ガバナー補佐	小 林 隆 一	古 河 中 央
	第5分区ガバナー補佐	笠 倉 勉	しもだて紫水
	第6分区ガバナー補佐	清 野 宏 之	土 浦 南
	第7分区ガバナー補佐	久 保 田 春 康	取 手
	第8分区ガバナー補佐	金 子 大 作	波 崎
	ガバナーエレクト(2023-2024年度)	大 高 司 郎	高 萩
	ガバナーノミニ(2023-2024年度)	瀬 戸 隆 海	水 海 道
ガバナーノミニ・デジグネート(2023-2024年度)	藤 木 章 吉	しもだて紫水	
地区役員	地区幹事	大 河 原 浩	高 萩
	地区幹事	青 木 正 弘	水 海 道
	地区幹事	高 原 裕	水 戸
	地区会計長・財務委員長	石 君 平	高 萩
	地区資金委員	倉 持 功 典	水 海 道
	地区資金委員	増 山 英 和	水 戸
	ロータリーの友地区代表委員	小 森 勇 一	高 萩
	ロータリーの友委員	北 村 英 明	水 海 道
	財団監査委員	平 島 泰 裕	つくば学園
	財団監査委員	小 野 智 久	日 立
	RLI委員長	高 貴 修	水 戸
	地区戦略計画委員	柿 沼 利 明	古 河 東
	地区戦略計画委員	長 野 久 嗣	水 戸
	地区立法法案検討会委員	土 田 次 郎	古 河 中 央
	地区立法法案検討会委員	片 岡 宗 敏	水 戸

出席者名簿

敬称略

	役 職	氏 名	所属クラブ	
総括委員長	クラブ奉仕総括委員長	星 野 幸 子	水 戸 西	
	職業奉仕総括委員長	安 圭 一	水 戸	
	社会奉仕総括委員長	關 本 淳 一	土 浦	
	国際奉仕総括委員長	平 島 隆 之	土 浦	
	青少年奉仕総括委員長	高 田 稔 美	つくば学園	
	ローターアクト総括委員長	塚 越 俊 祐	つくば学園	
	米山記念奨学会総括委員長	神 山 芳 子	下 館	
	地区委員	ロータリー財団 資金管理・推進委員長	秋 葉 良 孝	水 戸
		ロータリー財団 補助金委員長	菊 池 泰 正	土 浦
	ホストクラブ	実行委員長	小 森 勇 一	高 萩
ホストクラブ会長		小 谷 松 政 紀	高 萩	
ホストクラブ幹事		平 野 浩 司	高 萩	

会長出席者名簿

敬称略

	ガバナー補佐	クラブ名	会長氏名		
第1分区	佐々木 幸 一 (日 立)	日 立	征 矢 亘		
		日立南	朝 日 正 道		
		高 萩	今 川 隆		
		北 茨 城	丹 幸 一 郎		
		日立港	島 田 洋 次		
		日立北	宇 野 貴 法		
第2分区	大 谷 昌 吉 (常陸太田)	日立中央	黒 羽 豪		
		那珂湊	川 崎 誠		
		常陸太田	澤 畠 栄 寿		
		大 子	杉 雅 幸		
		大 洗	海 野 宗 久		
		勝 田	海 野 泰 司		
		東海那珂	海 野 宏 幸		
		ひたちなか	小 林 英 雄		
第3分区	高 原 裕 (水 戸)	水 戸	櫻 場 誠 二		
		笠 間	永 田 康 弘		
		水 戸 西	伊 藤 公 一		
		水 戸 南	兼 子 充 裕		
		友 部	菅 谷 和 徳		
		水 戸 東	佐 川 真 治		
		水戸さくら	小 林 一 裕		
		水戸好文	川 上 美 智 子		
第4分区	小 林 隆 一 (古河中央)	古 河	間 下 保		
		境	関 一 美		
		岩 井	張 替 貞 夫		
		古河東	柿 沼 利 明		
		古河中央	草 場 昭 二		
第5分区	笠 倉 勉 (しもだて紫水)	下 館	宮 田 憲 一		
		結 城	齋 藤 章		
		真 壁	木 口 光 弘		
		下 妻	宇 田 川 真 由 美		
		しもだて紫水	糸 川 秀 樹		
		筑西きぬ	森 久 仁 子		
		岩 瀬	藤 井 宗 一		
		第6分区	清 野 宏 之 (土 浦 南)	石 岡	山 本 進
				土 浦	原 田 博 夫
				土 浦 南	完 賀 浩 光
つくば学園	菅 原 俊				
石岡87	竹 内 盛 恭				
土浦中央	国 分 貢				
つくばシティ	石 山 武				
阿 見	久 保 谷 充				
第7分区	久 保 田 春 康 (取 手)	つくばライズ	田 頭 純 子		
		竜ヶ崎	海 老 原 次 男		
		水 海 道	五 木 田 裕 一		
		取 手	宇 田 川 滋 隆		
		牛 久	野 口 剛 志		
		守 谷	速 藤 榮 治		
		龍ヶ崎中央	大 原 浩 行		
		鉾 田	鬼 澤 明		
第8分区	金 子 大 作 (波 崎)	鹿島臨海	柳 堀 利 勝		
		玉 造	茂 木 宏 一		
		波 崎	西 條 健 一		
		鹿島中央	佐 藤 敏 近		
所属なし		茨城ロータリー	謝 佳		

ロータリー特別月間

月	テーマ
7月	母子の健康月間
8月	会員増強・新クラブ結成推進月間
9月	基本的教育と識字率向上月間 / ロータリーの友月間
10月	地域社会の経済発展月間 / 米山月間
11月	ロータリー財団月間
12月	疾病予防と治療月間
1月	職業奉仕月間
2月	平和構築と紛争予防月間
3月	水と衛生月間
4月	環境月間
5月	青少年奉仕月間
6月	ロータリー親睦活動月間

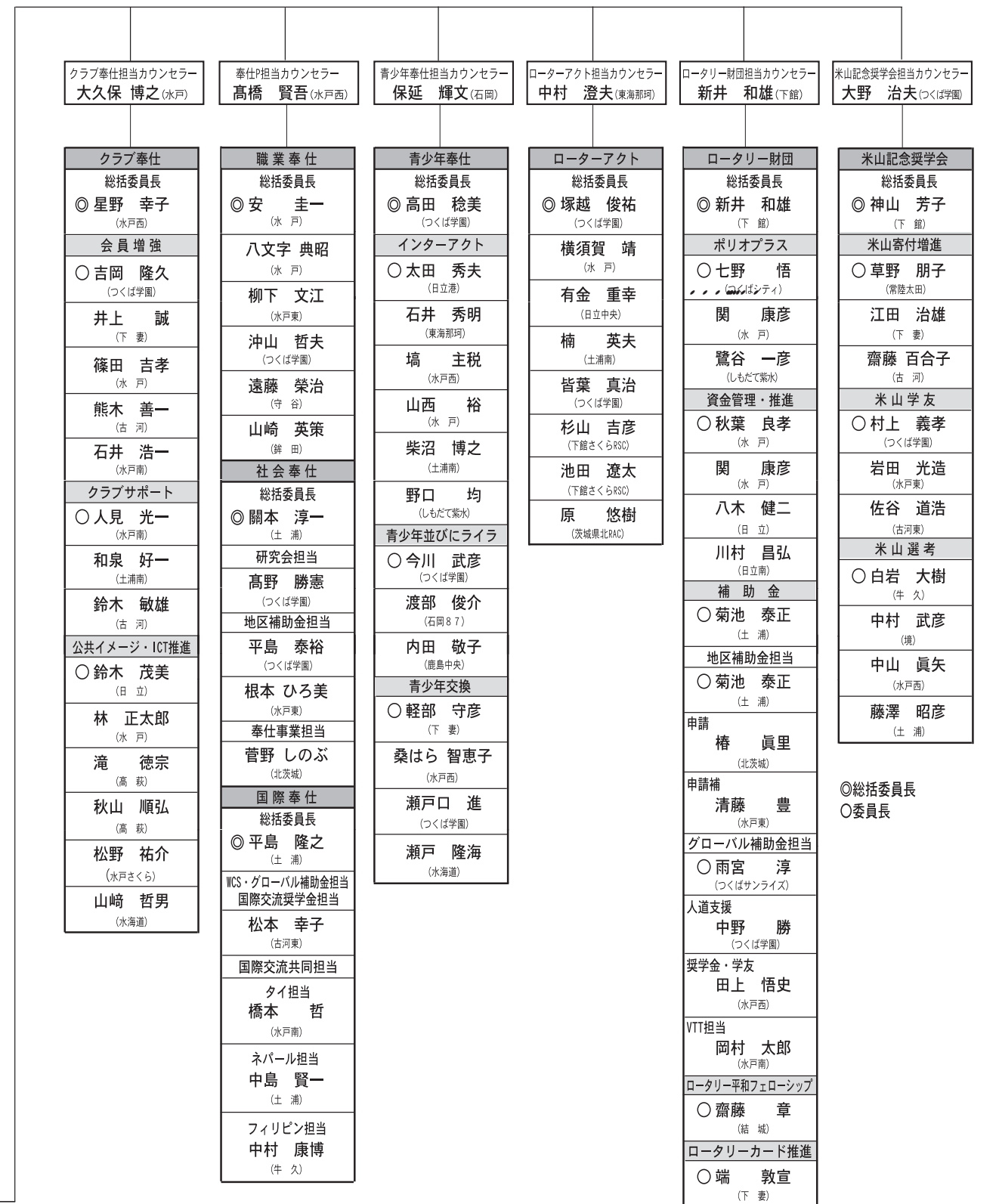
2024-2025年度 IM 日程一覧表

分区	開催年月日	ホストクラブ	会場	ガバナー補佐
1	2025年1月26日	日立RC	天地閣	佐々木幸一
2	2025年2月16日	常陸太田RC	未定	大谷 昌吉
3	2025年2月15日	水戸RC	未定	高原 裕
4	2025年3月1日	古河中央RC	未定	小林 隆一
5	2025年2月22日	しもだて紫水RC	未定	笠倉 勉
6	2025年2月1日	土浦南RC	未定	清野 宏之
7	2025年2月8日	取手RC	未定	久保田春康
8	2025年2月9日	波崎RC	未定	金子 大作

2024-2025年度 国際ロータリー第2820地区

公式訪問日程表

日	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	月	木 鹿島中央	日 RAC合同	火	金	日
2	火	金 玉造	月	水 水海道	土	月
3	水	土	火 しもだて紫水	木 水戸東	日	火
4	木	日	水 下館	金	月	水
5	金	月 水戸さくら	木 取手	土	火	木
6	土	火 北茨城	金 勝田	日	水	金
7	日	水 日立中央	土	月	木	土
8	月	木 水戸好文	日	火 古河東	金	日
9	火 水戸	金 龍ヶ崎中央	月	水 つくばシティ	土	月
10	水	土	火 竜ヶ崎	木 土浦	日	火
11	木 笠間	日	水 結城	金	月	水
12	金	月	木 筑西きぬ	土	火	木
13	土	火	金	日	水	金
14	日	水	土	月	木	土
15	月	木	日	火	金	日
16	火	金	月	水 古河中央	土	月
17	水 石岡	土 茨城E	火 日立	木 下妻	日	火
18	木 波崎	日	水 大子	金 水戸南	月	水
19	金	月 岩井	木 つくば学園	土	火	木
20	土	火 鉾田	金 古河	日	水	金
21	日	水 常陸太田	土	月	木	土
22	月	木 大洗	日	火 土浦南	金	日
23	火 友部	金	月	水 東海那珂	土	月
24	水 岩瀬	土 つくばサンライズ	火 日立南	木 日立港	日	火
25	木 阿見	日	水 水戸西	金	月	水
26	金 守谷	月	木 境	土	火	木
27	土	火 ひたちなか	金 鹿島臨海	日	水	金
28	日	水 日立北	土	月 牛久	木	土
29	月	木 石岡87	日	火	金	日
30	火 真壁	金	月 那珂湊	水 高萩	土	月
31	水 土浦中央	土		木		火





A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page.



会長エレクト研修セミナー出席報告

ご 芳 名

Name

所属クラブ

Home club

RC

職業分類

Classification

会長エレクト研修セミナーにご参加下さいまして有り難うございました。

2024年3月23日(土)・24日(日)
於 ホテル テラス ザ スクエア 日立

国際ロータリー第2820地区
地区幹事 大河原 浩



**END
POLIO
NOW**

世界ポリオデー 2820
～ポリオのない世界まであと少し～

国際ロータリー第2820地区
ガバナー事務所

〒317-0062 茨城県日立市平和町1-1-14

TEL: 0294-59-3113

FAX: 0294-59-3114

E-mail : 24-25@rid2820.jp

